

平成31年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査結果の概要

令和元年7月

高知県教育委員会

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 実施日 平成31年4月18日（木）

(3) 調査内容

- ◇ 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学、英語を出題

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

- ◇ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施

(4) 県内（公立学校）の参加状況

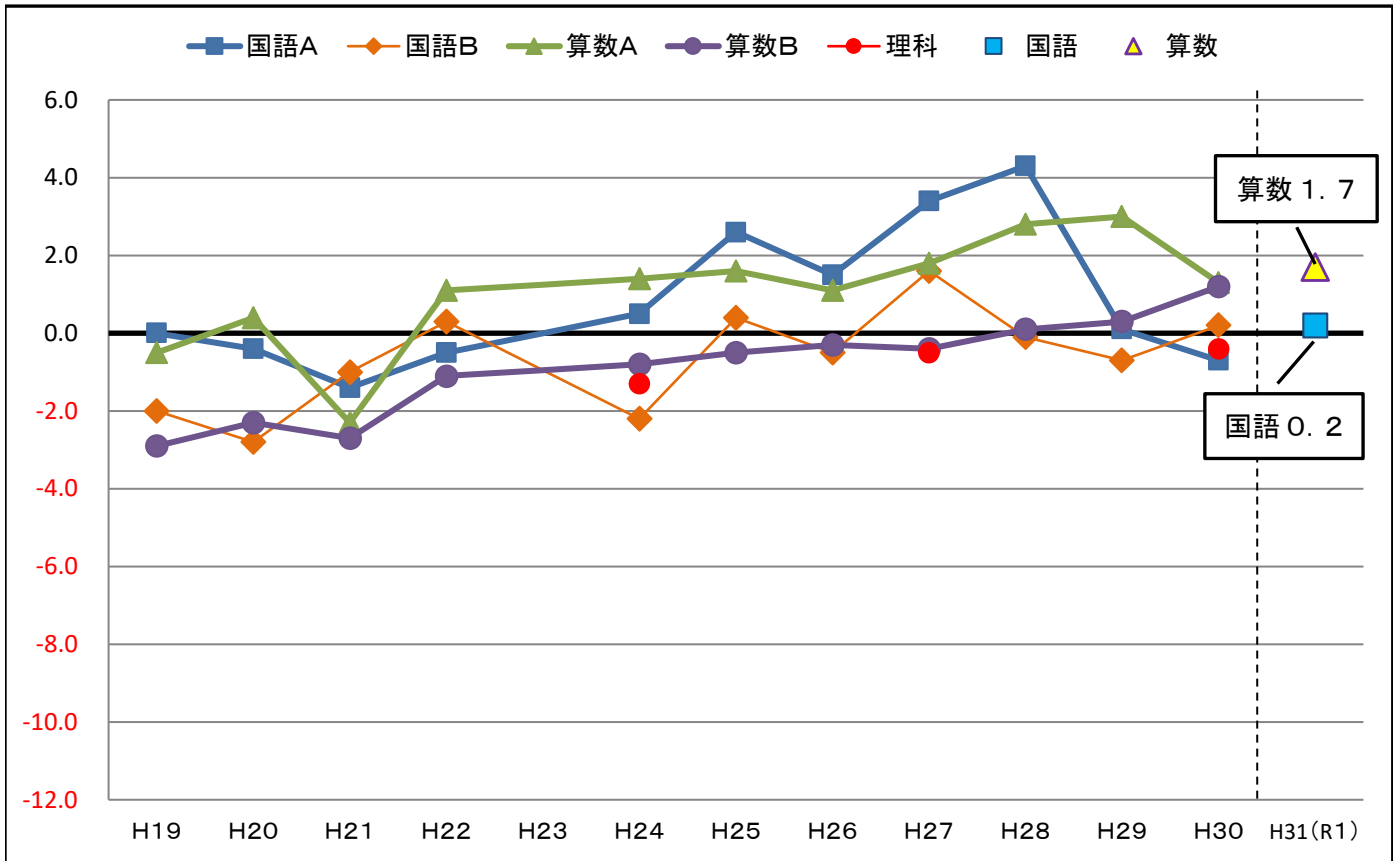
- ◇ 参加学校数 299校
 - 小学校 188校
 - 中学校 104校
 - 義務教育学校（前期課程・後期課程） 2校
 - 特別支援学校（小・中学部） 5校

- ◇ 小学校解答（回答）児童数
 - 国語 5,193名
 - 算数 5,192名
 - 児童質問紙 5,196名

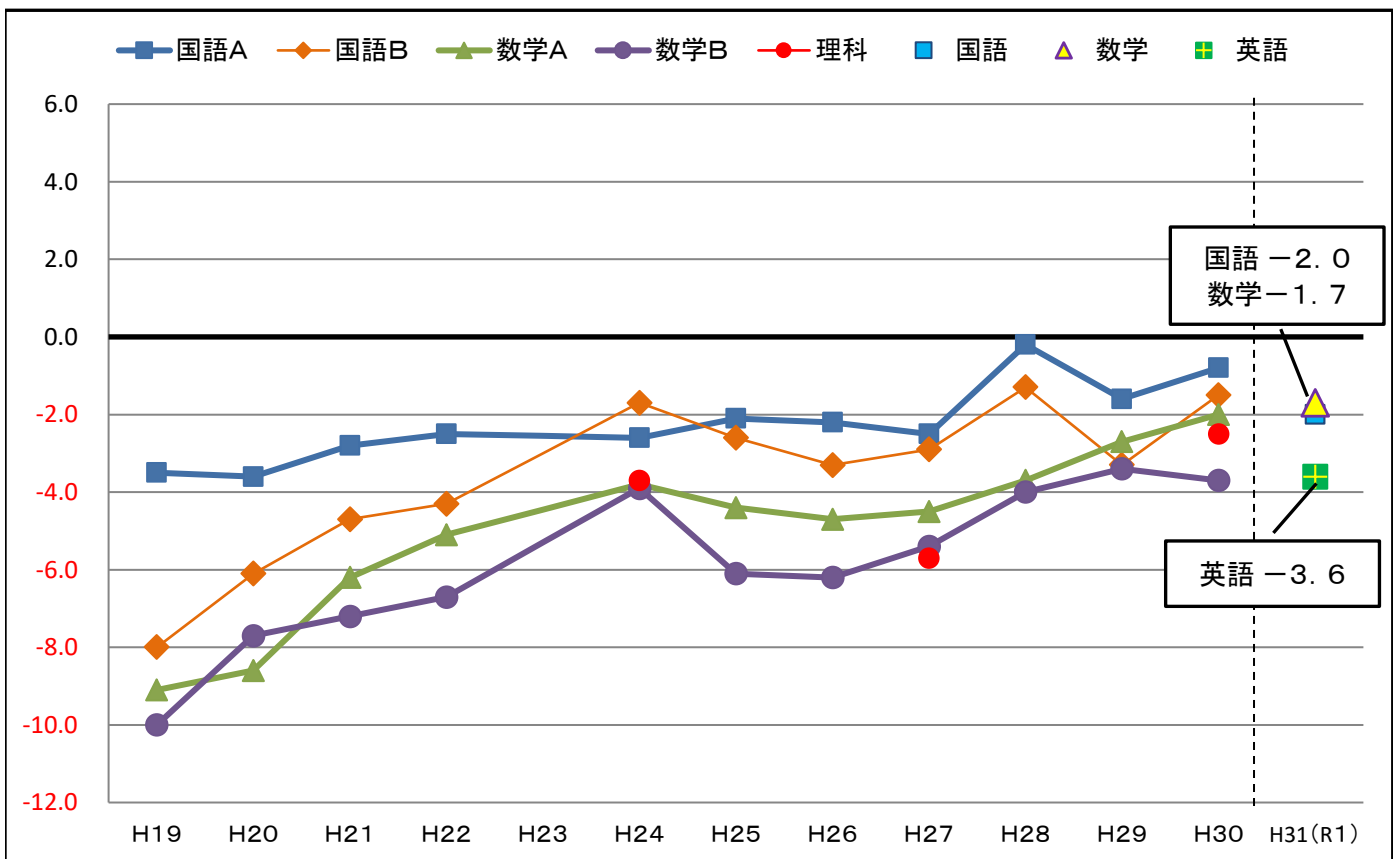
- ◇ 中学校解答（回答）生徒数
 - 国語 4,264名
 - 数学 4,265名
 - 英語 4,260名
 - 生徒質問紙 4,262名

平成19年～平成31年度(令和元年度) 全国平均正答率との差(高知県平均正答率)

小学校調査



中学校調査



※縦軸は全国の平均正答率との差をポイントで示している。(平成23年度の全国の値はない。)

※平成31年度(令和元年度)よりABが統合。

教科別平均正答率【小学校】

小学校(国語・算数)						
	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	算数平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
平成31年度	64.0	63.8	0.2	68.3	66.6	1.7

	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	算数平均正答率(%)		高知県と 全国の差	
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)		
A	平成30年度	70.0	70.7	-0.7	64.8	63.5	1.3
	平成29年度	74.9	74.8	0.1	81.6	78.6	3.0
	平成28年度	77.2	72.9	4.3	80.4	77.6	2.8
	平成27年度	73.4	70.0	3.4	77.0	75.2	1.8
	平成26年度	74.4	72.9	1.5	79.2	78.1	1.1
	平成25年度	65.3	62.7	2.6	78.8	77.2	1.6
	平成24年度	82.1 (81.5~82.7)	81.6 (81.4~81.7)	0.5	74.7 (73.9~75.6)	73.3 (73.1~73.5)	1.4
	平成23年度	81.0			82.3		
	平成22年度	82.8 (82.2~83.5)	83.3 (83.2~83.5)	-0.5	75.3 (74.3~76.3)	74.2 (74.0~74.4)	1.1
	平成21年度	68.5	69.9	-1.4	76.4	78.7	-2.3
	平成20年度	65.0	65.4	-0.4	72.6	72.2	0.4
平成19年度	81.7	81.7	0.0	81.6	82.1	-0.5	
B	平成30年度	54.9	54.7	0.2	52.7	51.5	1.2
	平成29年度	56.8	57.5	-0.7	46.2	45.9	0.3
	平成28年度	57.7	57.8	-0.1	47.3	47.2	0.1
	平成27年度	67.0	65.4	1.6	44.6	45.0	-0.4
	平成26年度	55.0	55.5	-0.5	57.9	58.2	-0.3
	平成25年度	49.8	49.4	0.4	57.9	58.4	-0.5
	平成24年度	53.4 (52.4~54.3)	55.6 (55.4~55.8)	-2.2	58.1 (57.1~59.1)	58.9 (58.7~59.1)	-0.8
	平成23年度	44.3			46.2		
	平成22年度	78.1 (77.2~79.0)	77.8 (77.7~78.0)	0.3	48.2 (47.2~49.2)	49.3 (49.1~49.5)	-1.1
	平成21年度	49.5	50.5	-1.0	52.1	54.8	-2.7
	平成20年度	47.7	50.5	-2.8	49.3	51.6	-2.3
平成19年度	60.0	62.0	-2.0	60.7	63.6	-2.9	

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

()の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

※平成31年度よりAB統合

教科別平均正答率【中学校】

中学校(国語・数学)						
	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	数学平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
平成31年度	70.8	72.8	-2.0	58.1	59.8	-1.7

		国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	数学平均正答率(%)		高知県と 全国の差
		高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
A	平成30年度	75.3	76.1	-0.8	64.1	66.1	-2.0
	平成29年度	75.8	77.4	-1.6	61.9	64.6	-2.7
	平成28年度	75.4	75.6	-0.2	58.5	62.2	-3.7
	平成27年度	73.3	75.8	-2.5	59.9	64.4	-4.5
	平成26年度	77.2	79.4	-2.2	62.7	67.4	-4.7
	平成25年度	74.3	76.4	-2.1	59.3	63.7	-4.4
	平成24年度	72.5 (71.8~73.1)	75.1 (75.0~75.2)	-2.6	58.3 (57.4~59.2)	62.1 (62.0~62.3)	-3.8
	平成23年度	78.5			54.3		
	平成22年度	72.6 (72.0~73.3)	75.1 (75.0~75.2)	-2.5	59.5 (58.3~60.7)	64.6 (64.4~64.8)	-5.1
	平成21年度	74.2	77.0	-2.8	56.5	62.7	-6.2
	平成20年度	70.0	73.6	-3.6	54.5	63.1	-8.6
平成19年度	78.1	81.6	-3.5	62.8	71.9	-9.1	
B	平成30年度	59.7	61.2	-1.5	43.2	46.9	-3.7
	平成29年度	68.9	72.2	-3.3	44.7	48.1	-3.4
	平成28年度	65.2	66.5	-1.3	40.1	44.1	-4.0
	平成27年度	62.9	65.8	-2.9	36.2	41.6	-5.4
	平成26年度	47.7	51.0	-3.3	53.6	59.8	-6.2
	平成25年度	64.8	67.4	-2.6	35.4	41.5	-6.1
	平成24年度	61.6 (60.9~62.3)	63.3 (63.2~63.4)	-1.7	45.4 (44.3~46.6)	49.3 (49.2~49.5)	-3.9
	平成23年度	61.0			45.2		
	平成22年度	61.0 (60.0~62.1)	65.3 (65.1~65.5)	-4.3	36.6 (35.4~37.9)	43.3 (43.1~43.5)	-6.7
	平成21年度	69.8	74.5	-4.7	49.7	56.9	-7.2
	平成20年度	54.7	60.8	-6.1	41.5	49.2	-7.7
平成19年度	64.0	72.0	-8.0	50.6	60.6	-10.0	

中学校(英語)			
	英語平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)	
平成31年度	52.4	56.0	-3.6

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

()の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

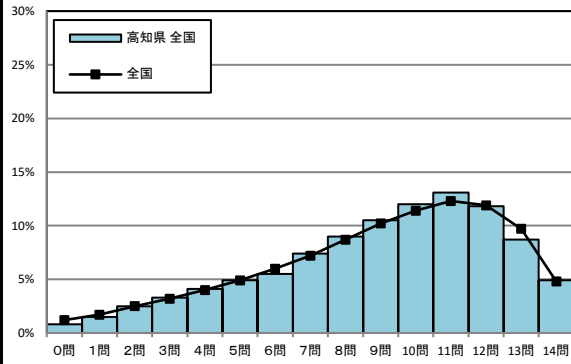
※平成31年度よりAB統合

各教科に関する学力の状況

〔小学校国語〕

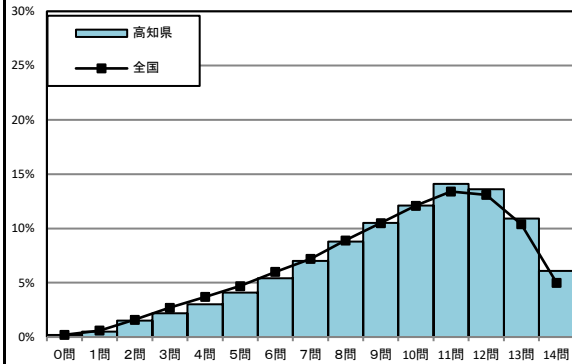
正答数分布の状況

国語	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	5,193	9.0/14	64.0%	10.0	3.3
全国	1,028,203	8.9/14	63.8%	10.0	3.4

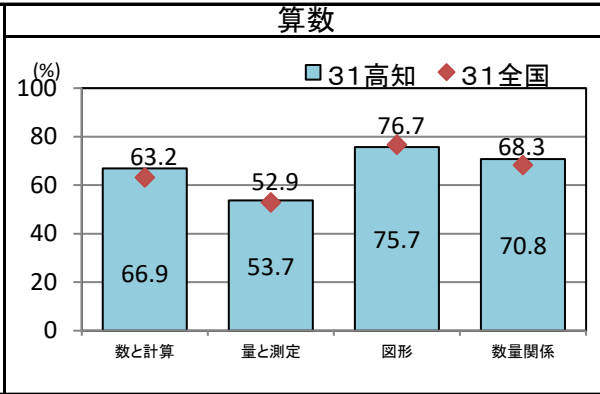
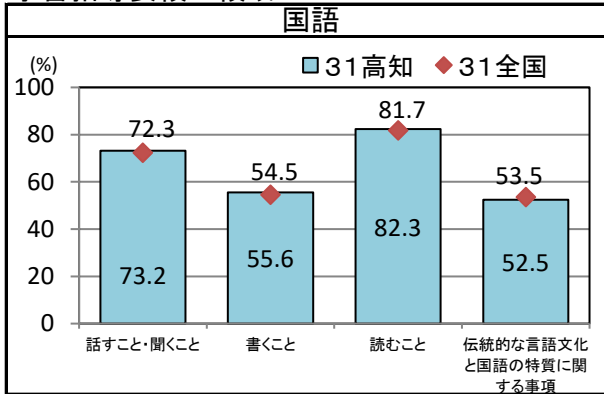


〔小学校算数〕

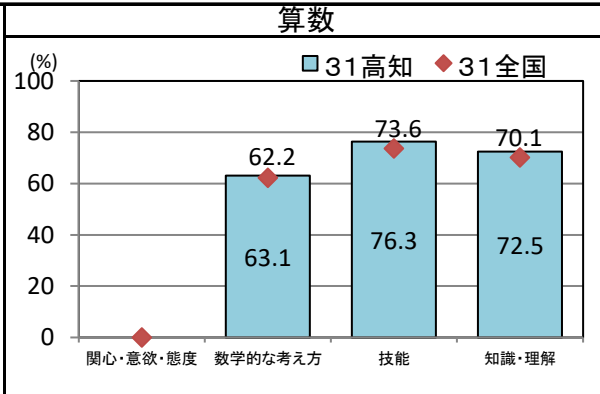
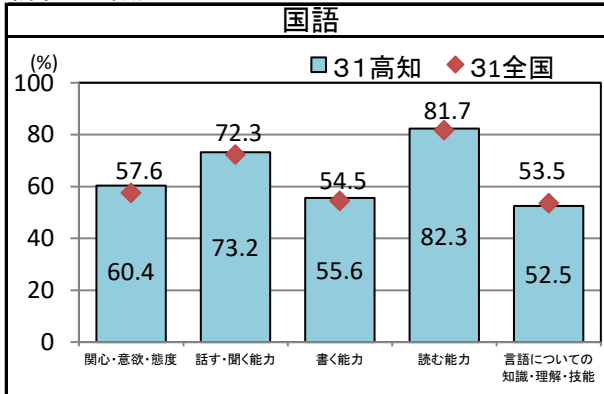
算数	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	5,192	9.6/14	68.3%	10.0	3.0
全国	1,028,177	9.3/14	66.6%	10.0	3.1



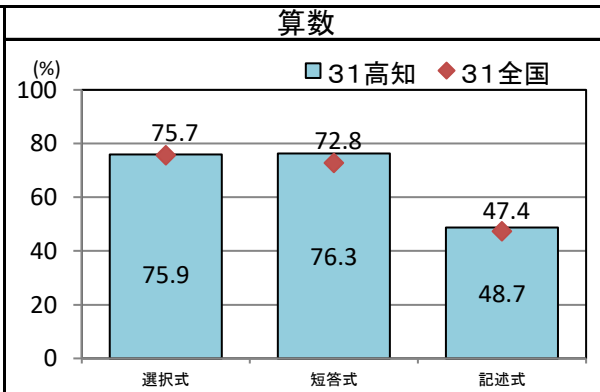
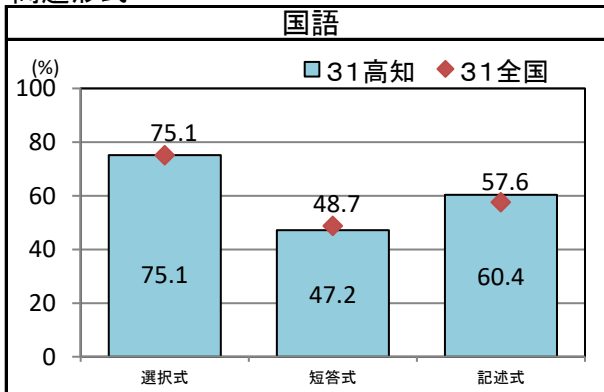
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式

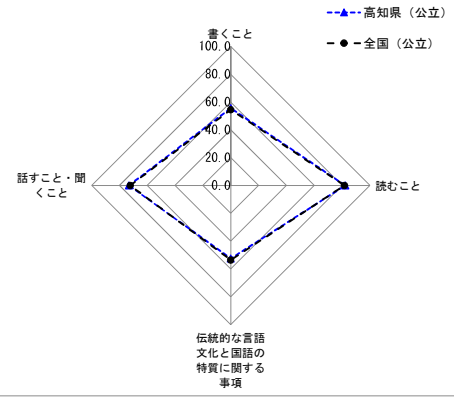


・以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	高知県(公立) 193	全国(公立) 19,263	対象児童数	高知県(公立) 5,193	全国(公立) 1,028,203
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			高知県(公立)	全国(公立)	
全体			14	64.0	63.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	73.2	72.3	
	書くこと	3	55.6	54.5	
	読むこと	3	82.3	81.7	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	52.5	53.5	
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	60.4	57.6	
	話す・聞く能力	3	73.2	72.3	
	書く能力	3	55.6	54.5	
	読む能力	3	82.3	81.7	
問題形式	言語についての知識・理解・技能	5	52.5	53.5	
	選択式	7	75.1	75.1	
	短答式	4	47.2	48.7	
	記述式	3	60.4	57.6	

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等					評価の観点			(参考※)従来の区分		問題形式			正答率(%)			無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	高知県(公立)	全国(公立)	全国正答率との差	高知県(公立)
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で(資料2)と(資料3)をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどをを用いた目的を捉える	5・6 エ													70.2	71.2	-1.0	0.2	0.5
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える	5・6 ウ													65.7	63.4	2.3	4.6	5.9
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(1)」に、「2.調査の内容と結果」の「(1)」と「(2)」で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	5・6 ウ													30.8	28.8	2.0	3.0	3.8
1四(1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「ア」部を、漢字を使って書き直す(調査のたいしゅう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6 (1)ウ (7)													44.9	41.9	3.0	5.1	8.2
1四(1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「イ」部を、漢字を使って書き直す(友達にかざらず)		5・6 (1)ウ (7)													66.7	69.4	-2.7	9.8	12.1
1四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「ウ」部を、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)		5・6 (1)ウ (7)													25.1	35.6	-10.5	2.8	4.9
1四(2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)」の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりや考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	3・4 (1)イ (2)													51.9	47.8	4.1	6.7	11.3
2一(1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「ア」に入る「疑問に思ったこと」の①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく	5・6 ウ													80.3	80.7	-0.4	0.6	1.4
2一(2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「イ」に「疑問に思ったこと」の②に対する答えになるように考えて書く		5・6 ウ													77.3	75.9	1.4	4.0	5.0
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む	5・6 イ													89.3	88.5	0.8	2.5	4.2
3一	量職人への【インタビューの様子】の「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする	5・6 エ													80.8	81.3	-0.5	1.9	3.4
3二	量職人への【インタビューの様子】の「イ」の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	5・6 エ													65.7	67.4	-1.7	2.5	4.2
3三	【インタビューの様子】の「イ」に、量職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	5・6 エ													73.0	68.2	4.8	10.5	14.2
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の「ウ」に入る適切なものを選択する(「言うより慣れよ」)	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる	3・4 (1)ア (イ)													73.8	73.0	0.8	4.9	7.9

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。



成果が見られる問題

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率	
				高知県	全国比
記述	1 三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	30.8	2.0
記述	2 一 (2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□に、疑問に思ったことの②に対する答えになるように考えて書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく	77.3	1.4
記述	3 三	【インタビューの様子】のイに、働職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。	73.0	4.8

大問1三

○分析・考察

これまで高知県の課題であった記述式問題で3問全てにおいて全国平均を上回った。この結果、目的や意図に応じて自分の考えをまとめる力の向上がうかがえる。

児童質問紙においても、国語の授業で目的に応じて自分の考えを話したり書いたりすることについて「よく当てはまる」と回答した児童は41.0%で全国値を4.8%上回ったことから、知識の習得にとどまらず、得た知識や技能を活用して書いたり話したりする言語活動の充実が要因であると考えられる。

○指導に当たって

大問1三については、全国平均を上回っているものの正答率は3割程度にとどまっている。自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに重点を置いた指導の系統を確認し、当該学年で付ける力を積み上げることが大切である。



課題が見られる問題

■問題番号 1四(1)ア・イ・ウ

■問題の概要

公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部を、漢字を使って書き直す。

■出題の趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

○分析・考察

1四(1)ウは、問題全体で最も低い正答率25.1%であった。正答の「関心」を同音異義語の「感心」と解答している児童が多く見られたことから、意味の違いを捉えることができておらず、また文脈の中で使い分けができなかったと考えられる。

○指導に当たって

日常的に文や文章の中で適切に使うことができるようにすることが大切である。そのためには、繰り返し練習することにとどまらず、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるような指導の工夫が求められる。

□正答と正答率

ア 対象	高知県44.9%	全国41.9%	(+ 3.0)
イ 限らず	高知県66.7%	全国69.4%	(- 2.7)
ウ 関心	高知県25.1%	全国35.6%	(-10.5)

調査の内容と結果

① 公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人が「けいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。
そこで、地いきの三十人調査の「アたいしよう」として、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめてみると「(資料2)です。」「けいたい電話をわすれたときに必要」「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。

3 調査の結果をもとに考えたこと
調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。なぜなら、

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと、このことも考えました。今回の調査を通して知ったことを、学校の友達に「イがさらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。」

(1) 高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気がつき、書き直すことにしました。「【報告する文章】の□部アからウのひらがなを、漢字で正しいに書き直そう。」

そこで、地いきの三十人調査の「アたいしよう」として、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

ウ

イ

ア

今回の調査を通して知ったことを、学校の友達に「イがさらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。」



成果が見られる問題

■問題番号 3 (1)

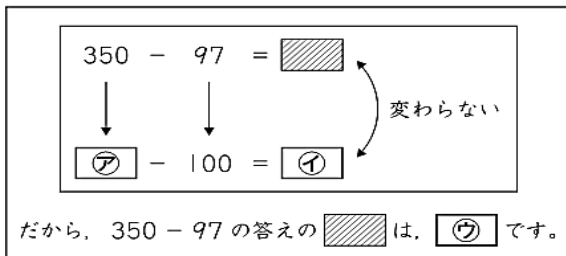
■問題の概要

350 - 97について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く。

■出題の趣旨

示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる。

(1) 【ともやさんの計算の仕方】をもとに、350 - 97について、計算しやすいようにひく数の97を100にした式で考えます。



正答 ア 353 イ 253 ウ 253

高知県正答率 84.5%
全国正答率 81.8%

○分析・考察

正答ではないものの、差は変わらないことを捉えられている児童は、全体で94.5%いるが、引かれる数と引く数に同じ数を足すことを捉えることができていない児童の姿も見られる。

350と97の差はそれぞれに3を足した353と100の差と同じであるといった数量関係に着目し、帰納的に減法に関して成り立つ性質を見つけ出していることが成果の要因として考えられる。

○学習指導に当たって

計算をする際には、その計算が確実にできるとともに、示された式の中にある数量の関係に着目できるようにする。

そのうえで、必要に応じて、一つの数をほかの数の和や差としてみて、計算に関して成り立つ性質を活用し、計算を能率的にするために工夫する活動を仕組んでいくことが大切である。



課題が見られる問題

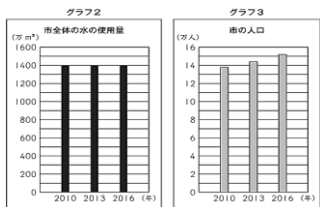
■問題番号 2 (3)

■問題の概要

二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだだけを書く。

■出題の趣旨

資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる。



あやさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだだけを、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 私たちは、水を大切に使用しているといえるのでしょうか。
- 2 市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているのかわかりません。
- 3 グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量についてわかります。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

高知県正答率 50.1%
全国正答率 52.1%

○分析・考察

解答類型の結果から、一人当たりの水の使用量の増減を判断することができている児童は、県56.2%となっているものの、正答の条件を満たしているのは県50.1%となっている。

複数の資料を関連付けて、1人当たりの水の使用量を求め、減っていることを判断できないことに要因が見られる。

○学習指導に当たって

一つの資料からは判断することができない事柄について、目的に応じて、必要な資料を収集し、複数の資料の特徴や傾向を関連付け、判断することができるようにする。

例えば、一人当たりの水の使用量を一つの資料から求められないときには、「市全体の水の使用量」と「市の人口」の二つの資料を関連付け、一人当たりの水の使用量が減っていることを判断する活動が考えられる。

【番号】1

正答例

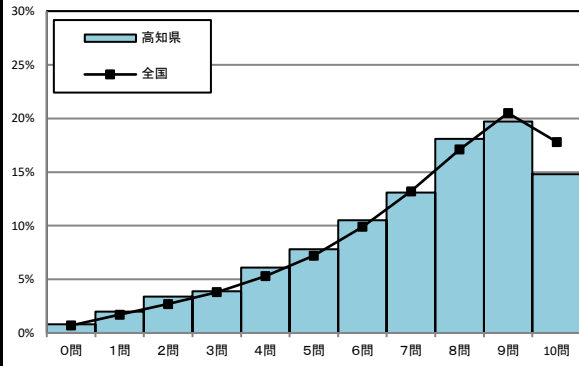
【わけ】1人あたりの水の使用量は、市全体の水の使用量÷市の人口で求めることができます。市全体の水の使用量は変わってはいませんが、市の人口は増えています。だから、1人あたりの水の使用量は、減っています。

各教科に関する学力の状況

〔中学校国語〕

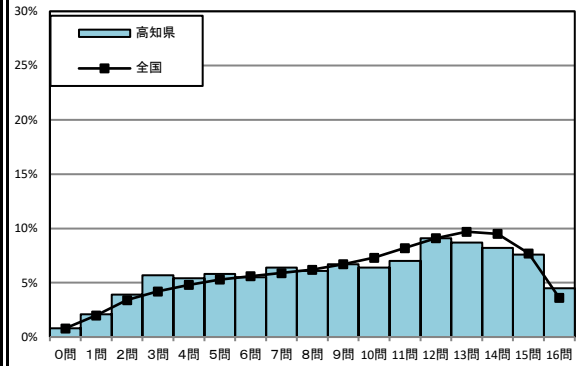
正答数分布の状況

国語	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,264	7.1/10	70.8%	8.0	2.4
全国	938,797	7.3/10	72.8%	8.0	2.4

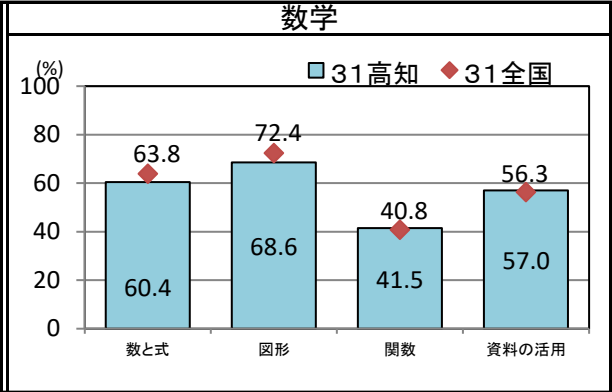
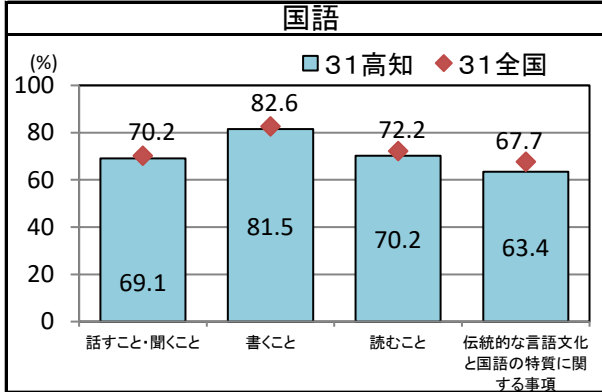


〔中学校数学〕

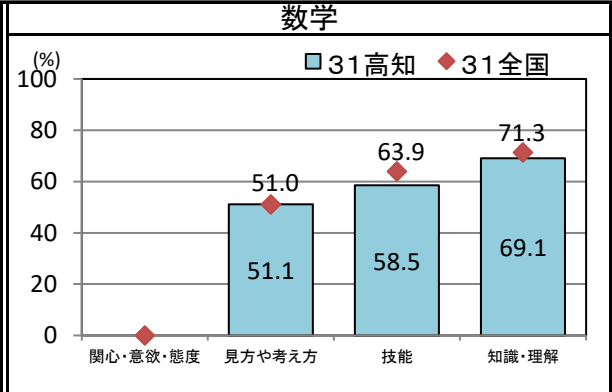
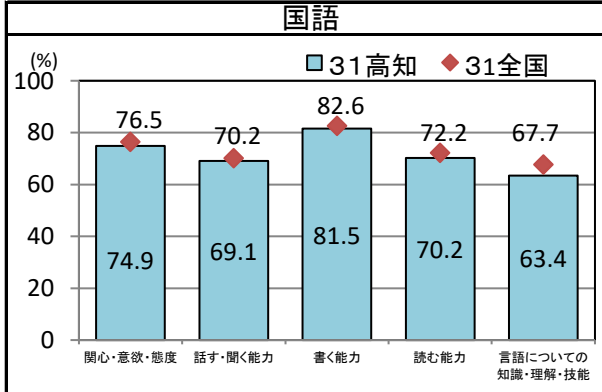
数学	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,265	9.3/16	58.1%	10.0	4.3
全国	938,887	9.6/16	59.8%	10.0	4.2



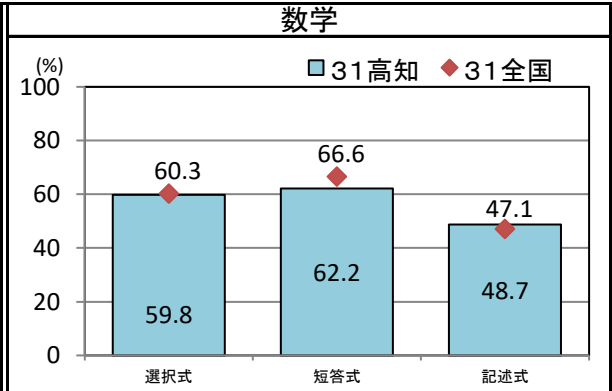
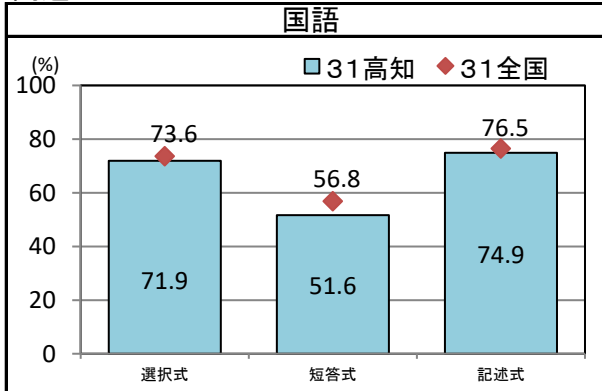
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式

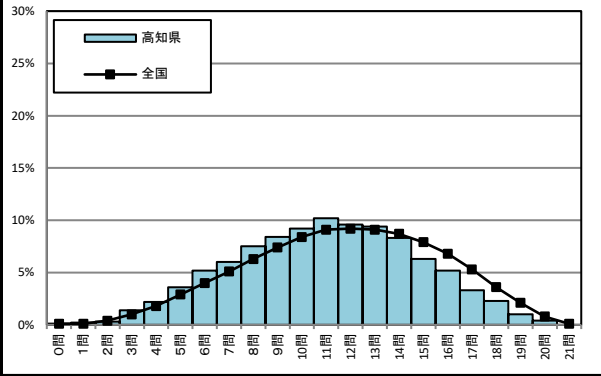


各教科に関する学力の状況

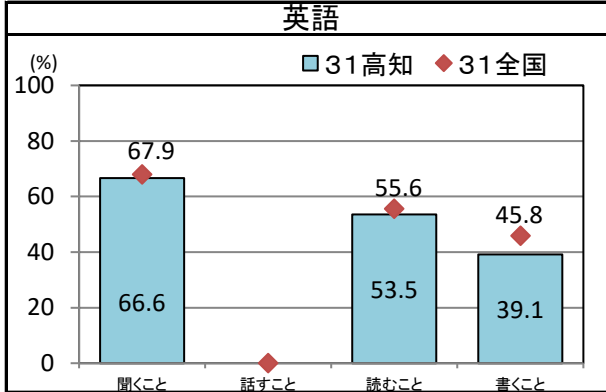
〔中学校英語〕

正答数分布の状況

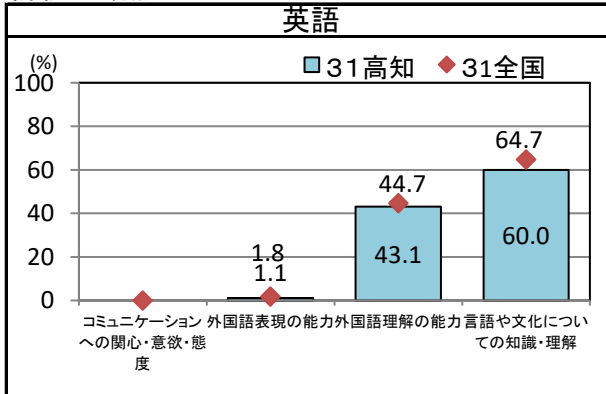
英語	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,260	11.0/21	52.4%	11.0	3.7
全国	938,888	11.8/21	56.0%	12.0	3.9



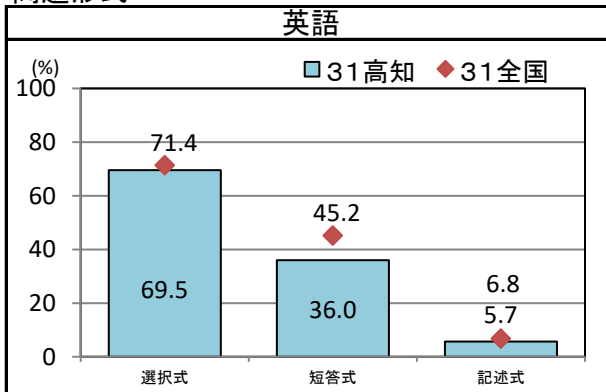
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式





成果が見られる問題

高知県正答率	90.8%
全国正答率	91.2%

- 問題番号 1三 情報を読む（新聞）
- 問題の概要---読むこと／記述式
- 「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く。
- 条件1 > 短歌を1首選び、想像できる情景や心情を書く。
- 条件2 > 想像した内容について感じたことや考えたことを具体的に書く。
- 出題の趣旨
- 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。

○分析・考察

選んだ短歌の中の言葉を適切に取り上げ、言葉から想像したことを書いたり、自分なりの感じ方や考え方を書いたりすることができている。

○学習指導に当たって

根拠（文章に表れているものの見方や考え方）と自分のものの見方や考え方を関連させ、分かりやすく表現できるよう指導する。さらに、視点を明確にした交流をすることを通して、自分の考えの広がりや深まりを実感することができるような授業を展開することが望まれる。

■正答例

「新しい」と「背筋伸ばして始まりを待つ」から、中学生になって胸をどきどきさせながら授業が始まるのを待っている様子が目に浮かびます。これから始まる中学校生活に胸を躍らせながら受けた最初の授業のことは、中学校三年生になった今でも覚えています。

7 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 全国中学生新聞

声の広場

今年こそ優勝! 高校バスケット

みんなの短歌

今年、新しい短歌が発表された。みんなの短歌は、読者の心を打つ。今年も、新しい短歌が発表された。みんなの短歌は、読者の心を打つ。

今年、新しい短歌が発表された。みんなの短歌は、読者の心を打つ。今年も、新しい短歌が発表された。みんなの短歌は、読者の心を打つ。

全国中学生新聞 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 6

海外に広がる弁当の魅力

（シリーズ）再発見! 日本の文化

海外に広がる弁当の魅力。日本の文化を再発見する。海外に広がる弁当の魅力。日本の文化を再発見する。

海外に広がる弁当の魅力。日本の文化を再発見する。海外に広がる弁当の魅力。日本の文化を再発見する。



課題が見られる問題

高知県正答率	58.2%
全国正答率	60.4%

- 問題番号 2三 話合いをする（文化祭）
- 問題の概要---話すこと・聞くこと／記述式
- 話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く（実際に話すように書く）
- 条件1 > 話合いの流れを踏まえ、未決定事項を明確にして書く
- 条件2 > 条件1で示した事項を解決する具体的な案を書く
- 出題の趣旨
- 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ

○分析・考察

話合いの話題や方向を的確に捉えて、論点を整理することができていない。また、「土足禁止」という掲示物の表現について、目的や相手にふさわしい表現を考え、修正することができていない。

○学習指導に当たって

話合いの話題や目的、方向性を確認し、話合いの経過を捉えることができるように指導する。また、話合いに参加する際には、話題や方向に沿って、自分の考えを整理しながら聞くことや、他者の考えと自分の考えを比較して聞き、他者の考えを取り入れて自分の考えを一層深めたり、共通点を結び付けて自分の考えを補強したりすることが大切であることを指導する。

【正答例】

校内にある「土足禁止」という掲示物の表現をどのように直すのかについてです。私は、文化祭に来てくださる方に対しては、「ここで靴を脱いでお上がりください。」のように直すようにと思います。皆さんはどう思いますか。

この図、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらいと感じたり、段差に気がつきに気がしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさん来られます。ですから、高齢者が安全に文化祭に参加できるように、段差をなくしてあげたい」という意見を聞きました。どう思いますか。

山田さん：ネットにそのようなニュースが出ています。高齢者が段差に気がつきに気がしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさん来られます。ですから、高齢者が安全に文化祭に参加できるように、段差をなくしてあげたい」という意見を聞きました。どう思いますか。

西野さん：そうですね。段差の問題を解決する具体的な案をいくつか考えてみることにしよう。まず、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。また、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。

山田さん：そうですね。段差の問題を解決する具体的な案をいくつか考えてみることにしよう。まず、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。また、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。

西野さん：そうですね。段差の問題を解決する具体的な案をいくつか考えてみることにしよう。まず、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。また、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。

山田さん：そうですね。段差の問題を解決する具体的な案をいくつか考えてみることにしよう。まず、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。また、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。

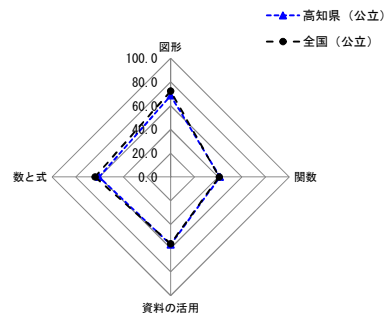
西野さん：そうですね。段差の問題を解決する具体的な案をいくつか考えてみることにしよう。まず、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。また、段差の位置を明確にして、高齢者が安全に歩けるようにする。

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	高知県(公立) 109	全国(公立) 9,505	対象生徒数	高知県(公立) 4,265	全国(公立) 938,887
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			高知県(公立)	全国(公立)	
全体					
学習指導要領の領域	数と式	5	60.4	63.8	
	図形	4	68.6	72.4	
	関数	3	41.5	40.8	
	資料の活用	4	57.0	56.3	
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	8	51.1	51.0	
	数学的な技能	3	58.5	63.9	
	数量や図形などについての知識・理解	5	69.1	71.3	
問題形式	選択式	5	59.8	60.3	
	短答式	7	62.2	66.6	
	記述式	4	48.7	47.1	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式	正答率(%)			無解答率(%)						
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解		「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	高知県(公立)	全国(公立)	全国正答率との差	高知県(公立)	全国(公立)
1	a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している	1(1)ア							○	○	○	○				63.3	62.2	1.1	0.2	0.2
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2)ウ						○				○				61.9	70.1	-8.2	6.9	5.1
3	$\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める	平行移動の意味を理解している	1(1)イ							○	○	○	○				81.7	83.6	-1.9	0.8	0.7
4	反比例の表から式を求める	反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる			1(1)エ				○		○	○	○				45.6	48.9	-3.3	9.1	10.4
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる			2(1)ア				○		○	○	○				67.9	72.8	-4.9	2.7	3.3
6(1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差を表すものを選ぶ	グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる			2(1)イ,エ			○			○	○					38.0	38.8	-0.8	0.3	0.3
6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2(1)イ,エ			○			○		○				41.0	34.7	6.3	9.2	11.6
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2)ア							○	○	○	○				69.8	75.8	-6.0	6.5	5.2
7(2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ	反例の意味を理解している	2(2)イ						○	○	○	○					74.7	77.2	-2.5	0.4	0.5
7(3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF=CE$ になるかを説明する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(2)ウ					○				○					48.4	53.3	-4.9	18.1	17.6
8(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる			1(1)ア				○	○	○	○					56.0	57.9	-1.9	9.8	10.6
8(2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1(1)イ			○				○					48.3	40.8	7.5	19.1	21.3
8(3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ	問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる			1(1)ア,イ			○			○	○					55.9	53.6	2.3	1.0	1.0
9(1)	説明をよみ、 $6n+9$ を $3(2n+3)$ に変形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる	2(1)イ,ウ					○				○					52.8	57.4	-4.6	9.9	9.5
9(2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1)イ,ウ					○				○					57.2	59.7	-2.5	18.5	17.8
9(3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n+4)$ で表されたとき、 $2n+4$ はどんな数であるかを選ぶ	総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる	2(1)イ,ウ					○			○	○					66.9	69.6	-2.7	1.9	1.9

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として設けた。



成果が見られる問題

高知県正答率 48.3%
全国正答率 40.8%

■問題番号 8(2)

■問題の概要

「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する。

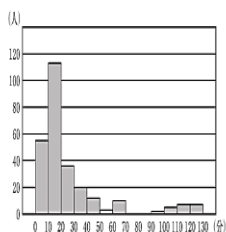
■出題の趣旨

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」

桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

○分析・考察

資料の分布やグラフの形状に着目して説明することに課題があるものの、資料やグラフなどを適切に読み取り、資料の傾向を捉え、批判的に考察し、判断したことの根拠を数学的に説明しようとする生徒が増加してきている。

代表値の形式的理解にとどまらず、具体的事象と関連付けた意味理解が進んできたと思われる。

統計的な問題解決に向けて、代表値を使って資料の傾向を読み取り、数学的な表現を用いて説明ができるようにしていくという授業改善が進みつつある。

○学習指導に当たって

目的に応じて計画を立て、必要なデータを収集して処理し、そのデータの傾向を読み取って、批判的に考察し判断することを通して、統計的に問題解決する活動を充実させていくことが大切である。

■正答例

1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日に26分ぐらい読書している生徒が多いというのは適切ではない。



課題が見られる問題

高知県正答率 61.9%
全国正答率 70.1%

■問題番号 2

■問題の概要

連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く

■出題の趣旨

簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。

○分析・考察

関連する問題H26A 3(3) (全国正答率との差-11.3) や昨年度の関連する問題H30A 3(3) (全国正答率との差-4.7) と比較すると依然として課題が見られる。

解答類型99と無解答の割合をあわせると全体の29.5%であることから、連立方程式を解くということの意味理解が不足していると考えられる。

○学習指導に当たって

等式の性質を基に、一次方程式を解いてきた学びの経験を生かし、連立二元一次方程式を解く場面においては、「2つの文字のうち一方の文字を消去して一元一次方程式に帰着して解けばよい」ということを実感させる必要がある。既習を生かし同じ考え方で、加減法や代入法を用いて解くことで、知識・技能も確かな概念へ高まるような指導にしていくことが重要となる。

連立方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解きなさい。 H31 2 県正答率61.9%(-8.2)

連立方程式 $\begin{cases} 5x - 2y = 10 \\ 3x - 2y = 2 \end{cases}$ を解きなさい。 H30A 3(3) 県正答率75.3%(-4.7)

連立方程式 $\begin{cases} y = 3x - 2 \\ y = 2x + 3 \end{cases}$ を解きなさい。 H26A 3(3) 県正答率55.9%(-11.3)

正答 (x=) 2 , (y=) -3

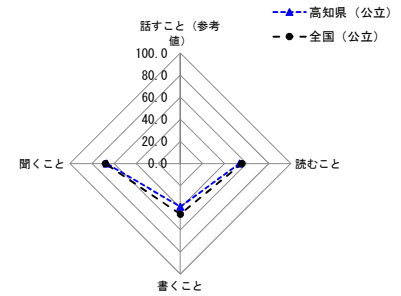
()は全国正答率と高知県正答率との差を示している

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	高知県 (公立) 108	全国 (公立) 9,500	対象生徒数	高知県 (公立) 4,260	全国 (公立) 938,888
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			高知県 (公立)	全国 (公立)	
全体					
学習指導要領の領域	聞くこと	7	52.4	56.0	
	話すこと (参考値)		66.6	67.9	
	読むこと	6	53.5	55.6	
	書くこと	8	39.1	45.8	
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	0			
	外国語表現の能力	1	1.1	1.8	
	外国語理解の能力	6	43.1	44.7	
	言語や文化についての知識・理解	14	60.0	64.7	
問題形式	選択式	13	69.5	71.4	
	短答式	5	36.0	45.2	
	記述式	3	5.7	6.8	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合は、それぞれの区分について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点		(参考)従来の区分	問題形式	正答率 (%)			無解答率 (%)			
			聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力			外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	「活用」に関する問題	「知識」に関する問題	選択式	短答式	記述式
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる	(7)	(4)						○	○	○	87.3	91.1	-3.8	0.1	0.2
1 (2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	(7)	(4)						○	○	○	85.5	88.6	-3.1	0.1	0.1
1 (3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	(7)	(4)						○	○	○	70.4	72.3	-1.9	0.1	0.2
1 (4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	(7)	(4)						○	○	○	64.7	61.8	2.9	0.1	0.2
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を選び替える	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる	(7)							○	○	○	70.8	71.8	-1.0	0.1	0.2
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる	(7)							○	○	○	81.1	82.0	-0.9	0.1	0.2
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	(9)							○		○	6.5	7.6	-1.1	35.5	42.3
5 (1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる		(4)						○	○	○	78.0	79.4	-1.4	0.1	0.2
5 (2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる		(4)						○	○	○	72.9	74.4	-1.5	0.2	0.2
5 (3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる		(4)						○	○	○	70.0	73.1	-3.1	0.4	0.4
6	発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる		(9)						○	○	○	59.7	62.9	-3.2	0.3	0.4
7	チャンピオンに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる		(9)						○	○	○	31.0	32.8	-1.8	0.9	1.0
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる		(4)						○		○	9.5	10.9	-1.4	26.8	27.9
9 (1) ①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる			(7)	(4)				○	○	○	75.3	79.9	-4.6	0.4	0.3
9 (1) ②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる			(7)	(4)				○	○	○	56.6	58.2	-1.6	0.7	0.5
9 (2) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる			(7)	(4)				○	○	○	66.2	73.6	-7.4	5.6	4.4
9 (2) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる			(7)	(4)				○	○	○	20.7	28.9	-8.2	13.8	12.6
9 (3) ①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる			(7)	(4)				○	○	○	43.5	53.5	-10.0	8.1	6.4
9 (3) ②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる			(7)	(4)				○	○	○	21.8	32.9	-11.1	10.8	9.3
9 (3) ③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる			(7)	(4)				○	○	○	27.8	37.4	-9.6	10.6	10.5
10	学校を表す2つのピクトグラム (案内用図記号) の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる			(4)					○		○	1.1	1.8	-0.7	9.2	8.3



成果が見られる問題

■問題番号 1 (4)

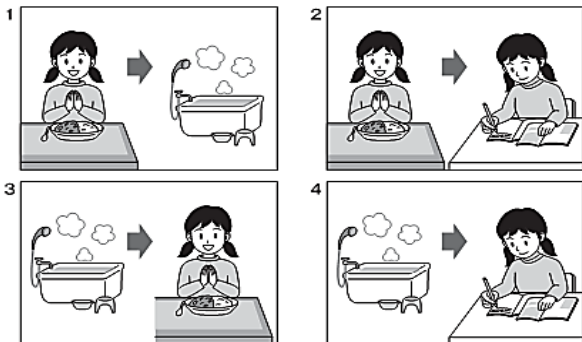
■問題の概要

家ででの会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する。

■出題の趣旨

日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。

1 (4) <家での会話>



A: I'm so hungry.

B: Today's dinner is curry and rice. It will take about thirty minutes to cook. Do you have any homework today?

A: No, I don't.

B: Then take a bath before dinner.

A: OK.

3

高知県正答率 64.7%

全国正答率 61.8%

○分析・考察

日常的で簡単な事柄について必要な情報を聞き取る力は身に付いていると考えられる。授業全体を英語を使ったコミュニケーションの場面とし、生徒が英語に触れる機会の充実を図っていること、小学校外国語活動からの積み重ねにより、一定の定着が図られつつある。

○学習指導に当たって

情報を正確に聞き取るためには、英語の音声の特徴を踏まえて、事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解できるよう、教師が自然な口調の英語を用いるようにして話すなど、日常的に「聞くこと」を通して理解する指導を継続する。

一日の行動や旅行の計画などを聞き、before A, after B等の時間的な順番を表す句を正しくとらえ、時間の前後関係を理解する活動を行うなど、目的にあった聞き方をすることが必要である。



課題が見られる問題

9

(3)

①

高知県正答率 43.5%
全国正答率 53.5%

②

高知県正答率 21.8%
全国正答率 32.9%

③

高知県正答率 27.8%
全国正答率 37.4%

■問題番号 9 (3) ①～③

■問題の概要

与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く。

■出題の趣旨

与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書くことができる。

■問題番号 10

■問題の概要

学校を表す2つのピクトグラムの案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く。

■出題の趣旨

与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる。

10

高知県正答率 1.1%

全国正答率 1.8%

○分析・考察

問題10の解答状況から、全体の50%の生徒が25語以上の文章を書くことができ、書くことに対するねばり強さは見られる。しかし、情報を整理し、自分の意見を形成して正しく伝えることには課題が見られる。

さらに問題9に見られるように、既習事項を場面に合わせて正確に活用することにも課題が見られる。

○学習指導に当たって

生徒のつまずきは内容か、それとも文章構成かを把握し、課題に応じた手立てを考えることが求められる。書いた後は、相手に正しく伝わる文章になっているか、生徒自身が誤りに気付いたり、修正を加えたりしながら正確さを高める活動、生徒同士で書いたものを読み合い内容を推敲する活動を通してよりよく読み手に伝えるために書くことの指導が大切である。

9

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×

①She is from Australia.

②She lives in Rome.

③She doesn't have any pets.

I think A is better. It shows a teacher and students in a classroom, so it looks like a school. I don't think B is good because it looks like a library.

10 海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）のうち、どちらがよいウェブサイトで見解を募集しています。どちらかの案を選択し、その案について述べながら、あなたの考えを理由とともに英語以上の英語で書きなさい。



質問紙調査の結果（児童生徒質問紙）

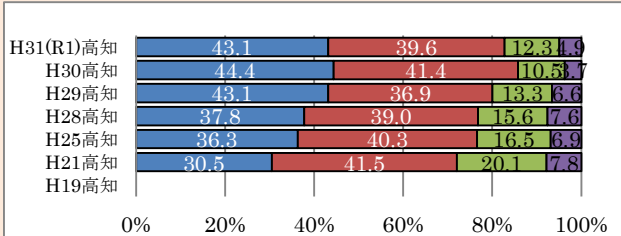
児童生徒質問紙

【5 自分にはよいところがあると思いますか】

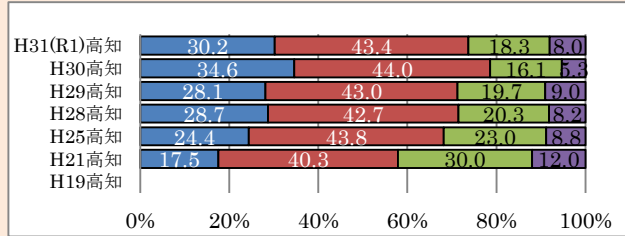
高知県（経年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

【小学生】

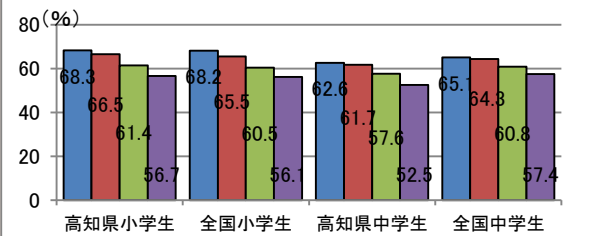
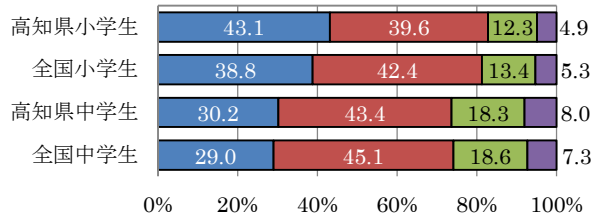


【中学生】



平成 31 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



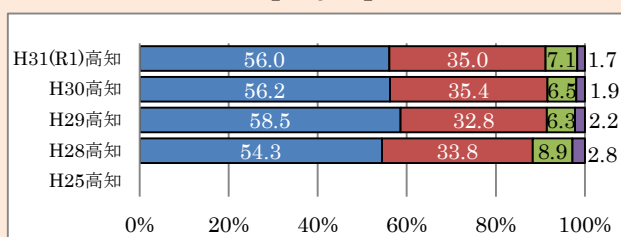
児童生徒質問紙

【6 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか】

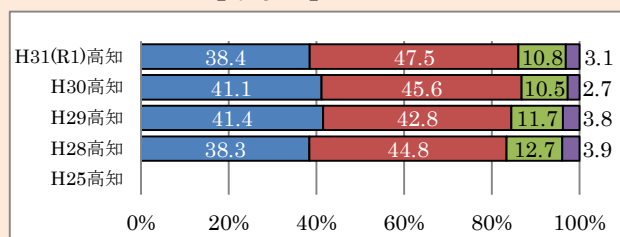
高知県（経年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

【小学生】

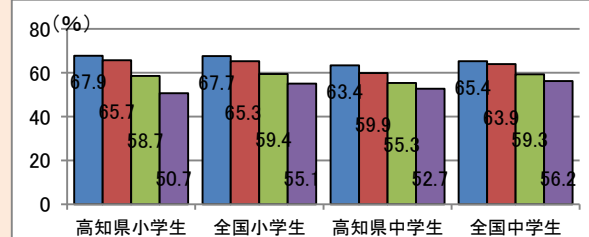
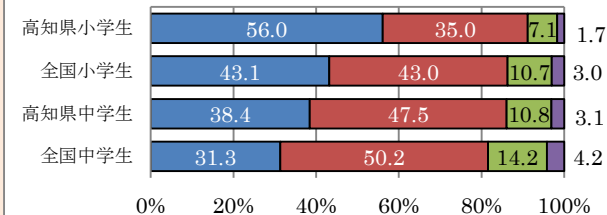


【中学生】



平成 31 年度調査結果

質問項目と正答率との相関

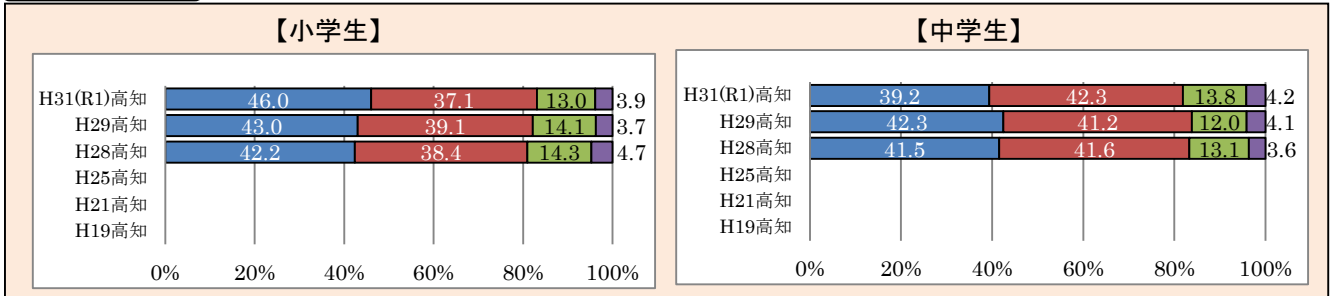


児童生徒質問紙

【34 39 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか】

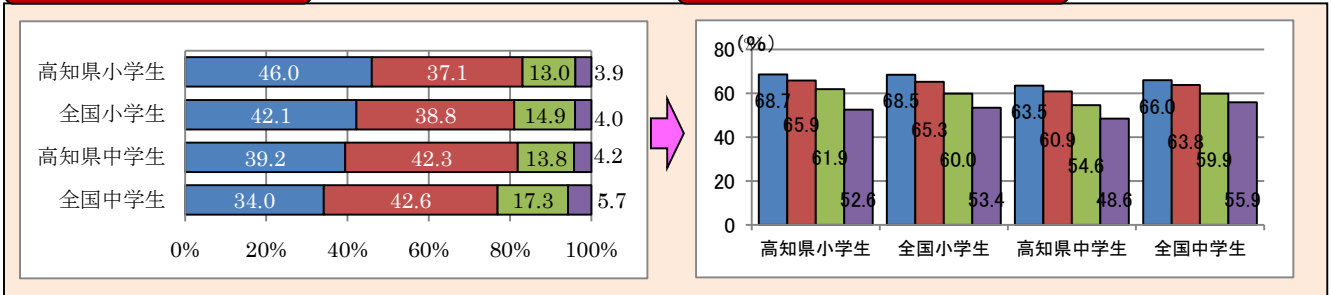
高知県(経年)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



平成31年度調査結果

質問項目と正答率との相関

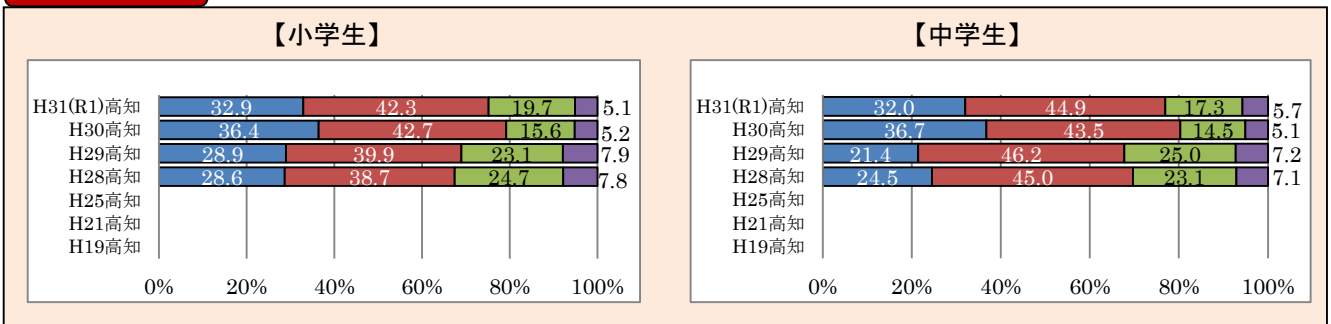


児童生徒質問紙

【29 32 学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか】

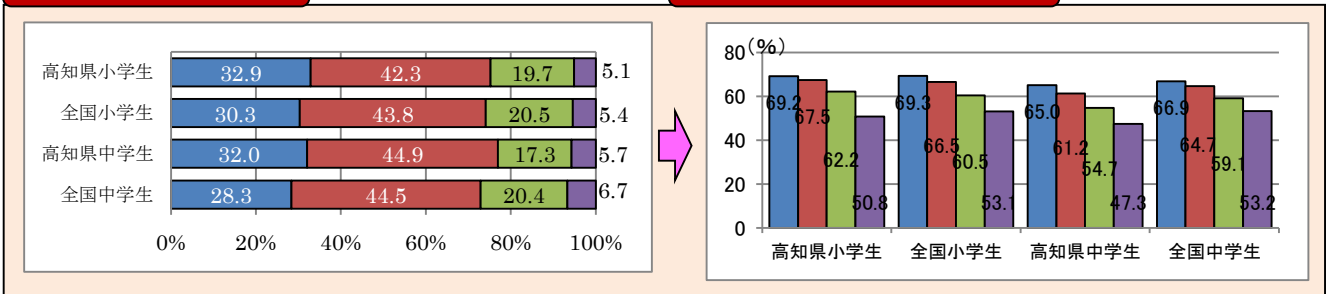
高知県(経年)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



平成31年度調査結果

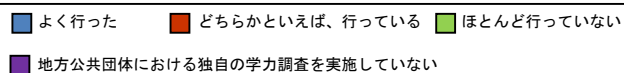
質問項目と正答率との相関



質問紙調査の結果（学校質問紙）

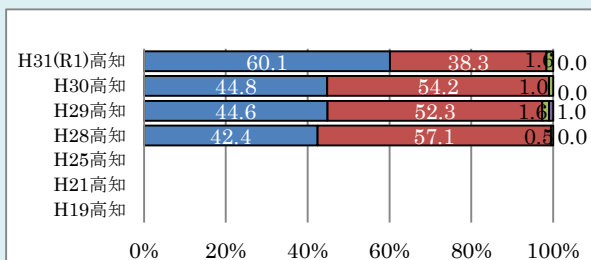
学校質問紙

【20 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか】

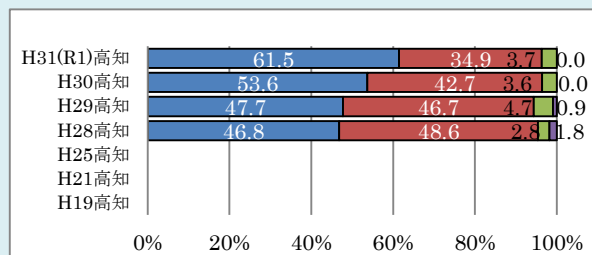


高知県（経年）

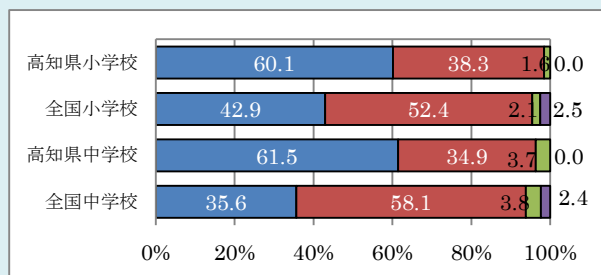
【小学校】



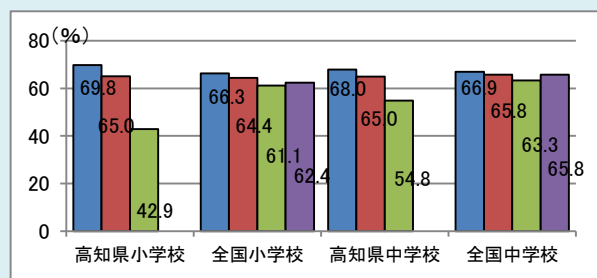
【中学校】



平成 31 年度調査結果



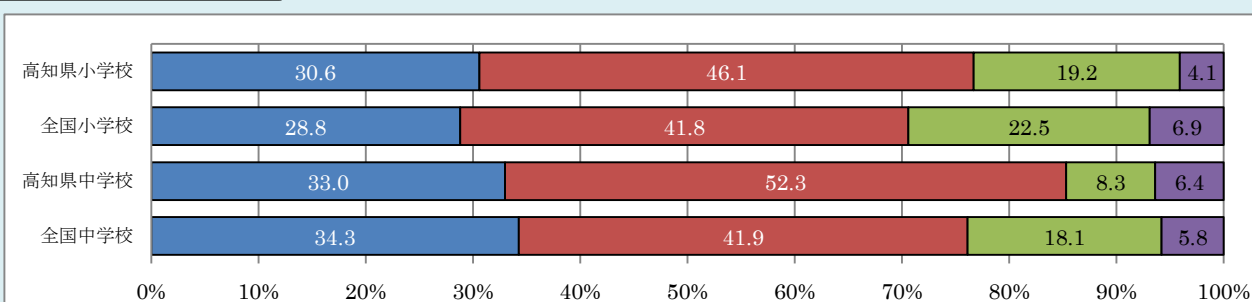
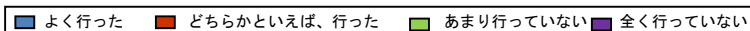
質問項目と正答率との相関



学校質問紙

【52 66 近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか】

平成 31 年度調査結果



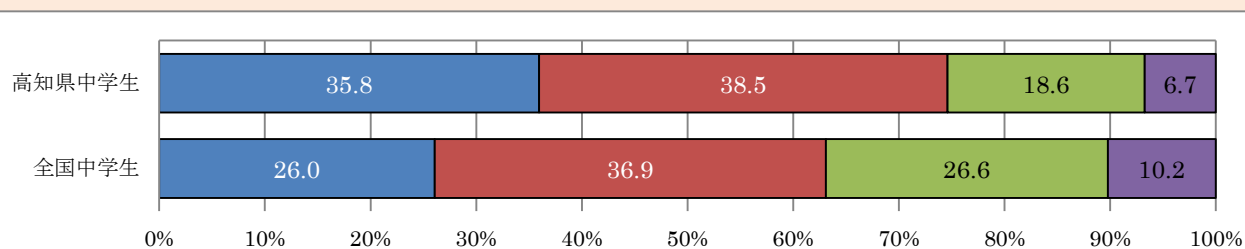
学校質問紙と生徒質問紙との関連等

生徒質問紙

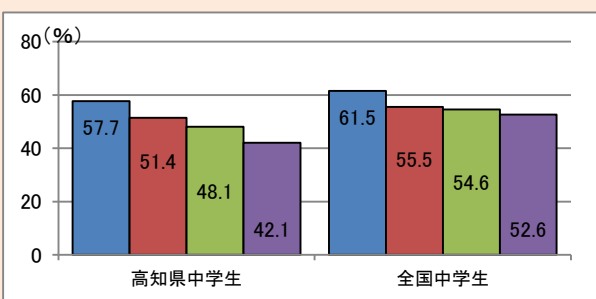
【新規項目 62 授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で) 自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか】

平成 31 年度調査結果

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



質問項目と正答率との相関

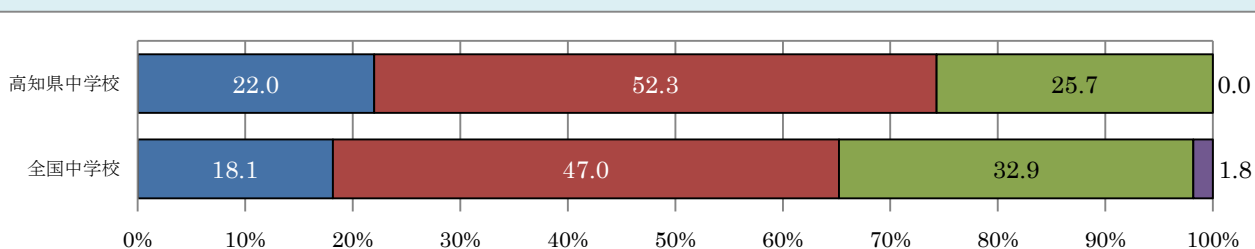


学校質問紙

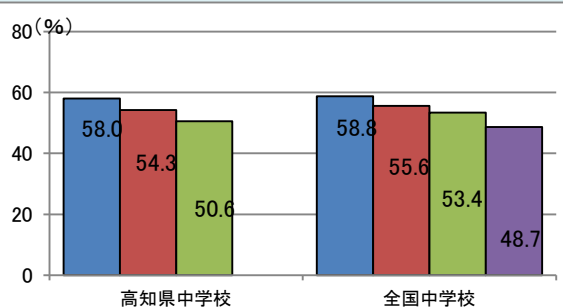
【新規項目 54 英語の指導として、原稿などの準備をすることなく、(即興で) 自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか】

平成 31 年度調査結果

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行っていない ■ 行っていない



質問項目と正答率との相関

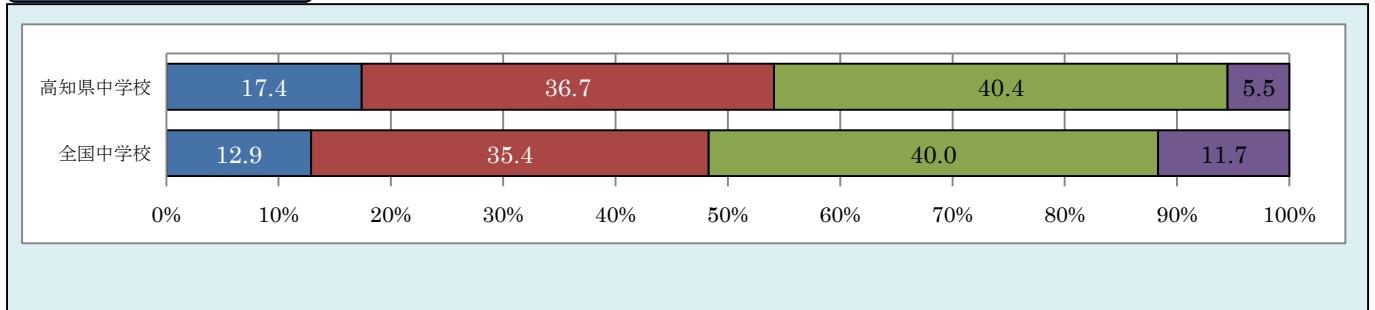


学校質問紙

【60 前年度までに、英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とどの程度行いましたか】

平成 31 年度調査結果

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行っていない ■ 全く行っていない

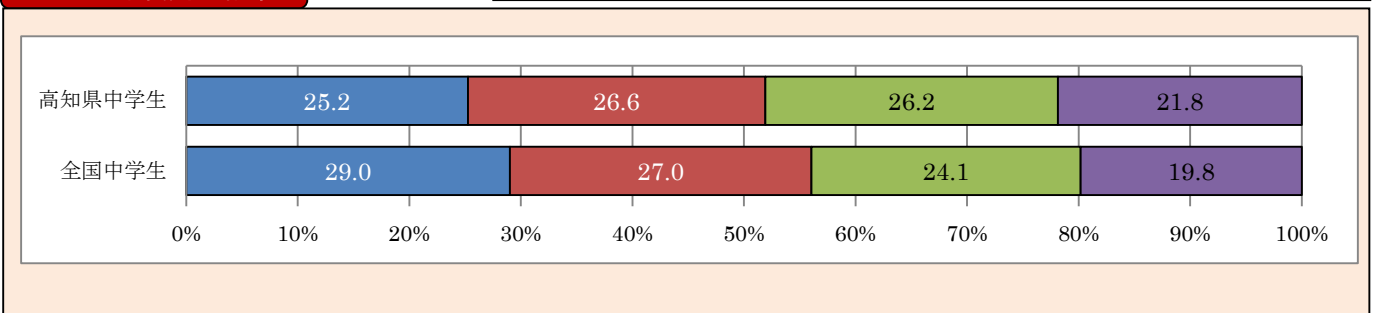


生徒質問紙

【新規項目 54 英語の勉強は好きですか】

平成 31 年度調査結果

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



【新規項目 56 英語の授業はよく分かりますか】

平成 31 年度調査結果

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

